

コルドバの空は青かった

El cielo de Córdoba era azul.

特派員Gスペインに行く



メスキータ (Mezquita) の外観 (左) と内部 (右) かつてイスラム教徒支配時代に寺院 (モスク) として建てられた。スペインの歴史の一断面であり、世界遺産にも登録されている。スペイン語 mesquita は 英語で mosque である。



第3巻第11号
通巻第46号

この秋、四十六歳で亡くなった女性がいます。彼女の生は長かったのか、短かったのか。平均寿命が八十歳余りに達している今日、随分短かったな、と考えることは容易い。その一方で、幼少にして失われる生命も少なからずあるわけで、そのことを思えば、それほど短くはなかったのだ、と考えることも不可能ではない。だが、しかし……。

万年筆という名の由来の幾許かは、おそらく万年に垂んとする耐用年数を誇示するところにあつただろう。なるほど、父の遺した一四九というペンは、購入から何十年かを経た今日にあつても十分に機能している。いやいや、それどころか、もっとも信頼できる道具の一つである、と言つて良い。心掛け次第では、まだまだかなりの歳月を実用品として生き延びそうである。しかしながら、万年筆は、万年には程遠い、たかだか百年ほどの歴史を持つに過ぎない。つまり、実際に万年を迎えた製品は存在しないのだ。私のささやかなコレクションを考えてみても、平成一万十四年、一万四十一歳の私の手元において、その大半は廃品と化しているに違いないと想像される。この命名はあまりに誇大ではあるまいか。

一四九の実際の耐用年数はどれほどだろうか。当のモンブラン社によれば、保証期間は僅か一年である、との由。それでは一年筆ではないか。そんな声が聞こえそうだが、万年筆というのは日本

特有の名称であつて、諸外国では「万年」などという大仰な冠は用いられていない。納得のゆかぬ諸兄は、万年筆という名称に抗議するために、保証期間一年筆とも呼ぶことには如何がだろうか。実際のところ、丁寧に親しんでゆけば、このペンはあ何十年かは働いてくれそうに思える。あるいは、百年、二百年と頑張つてくれるかもしれない。しかしながら、何かの拍子で落として割れてしまつことだつてあるだろうし、運悪く、落としたところにイーグル沢井が通りがかって粉砕されてしまつことだつてあるかもしれない。その時、私はどうするのだろうか。復元できる可能性があれば、修理に出すだろうか。あるいは、同じ製品を購入することにするだろうか。その場合、失われたものと新しく購入したものと間には殆ど差はないだろう。機能や外観に関しては、しかしながら、それはもはや父が遺してくれたものではない。そこに、モノでは決着のつかない何かがある。

同じ一四九だつたら、草臥れた父親譲りのものよりも、新品のびかびかのものの方が良いに決まつている……と言いつつ切れないところに難しさがある。考えてみれば、全く同じ製品であつても、何かを何かで完全に代替できることはないのだから。ましてや、もともと同じものでない場合、何をか言はむや。

(最終面に続く)

今日の紙面から

- 二面 オーラ面
- 三画 芸術面
- レイスギヤラリー
- 四画 からすライブラリー
- 本 『人喰い鬼のお愉しみ』
- CD 『ハーダー・ゼイ・カム』
- 映画 『サウス・パーク』
- 六画 国際面
- Gレポートの詳細
- 七画 英語面



からす新聞は××××が母体となつて、世界に文化と芸術を発信すべく発行しています。誰でも自由に参加できます(無茶じやない範囲で)。

松本と話そうピンポンパン

赤ん坊は生まれてすぐは赤くないんだって。胎内から出てきて初めて自分の肺で思いきって空気を吸った瞬間に一気に体内に血液が巡らされて赤くなるそう。その時は凄く苦しうなんだと。決して生まれて来た歓喜の泣き声などではないんだと。結論、「吸う」ことで、「生きる」ことが始まり「苦痛」も伴い始まる。

人が臨終の際には最後に大きく深呼吸をするんだって。ゆっくりと息を吐いて終わるそう。そして徐々に血の気が引いていくらしい。そしてその時はだいたいは凄く安らかな表情なんだと。決して苦しうではないんだと。結論、「吐く」ことで、「生きる」ことが終わり、「生きる」ことが終わり

「苦痛」から解放される。

三六年生きた。常識で考えればそろそろ人生の折り返し地点も近い。だいたいこのことは経験した。理解した。悟った。そして責任取らなければならない人、つまり扶養家族もいない。そう、だから、ほとんど永遠の存在である海の姿やリズムや臭いをほぼ毎日感じていると、生きていることも死んでいることも大差ないような気がして来た。ならば敢えて苦痛を伴う側に積極的にしがみつこう

いだろ。そう思うようになってきた。『Ferry, cross the mercury』から『at the mercy』へ。

しかし数日前にこの考えは吹き飛ばされた。昔我ひとみさん、っていう今最も良くテレビに映る女性の一人、そう北朝鮮に拉致されて二四年振りに母国へ帰るのが許された人の記者会見で述べた言葉によってだ。

「今、私は夢を見ているようです。空も土地も木も私にささやく。お帰りなさい。頑張ってきたね。わたしもうれしくなつて、ありがと」と元気に話します。」

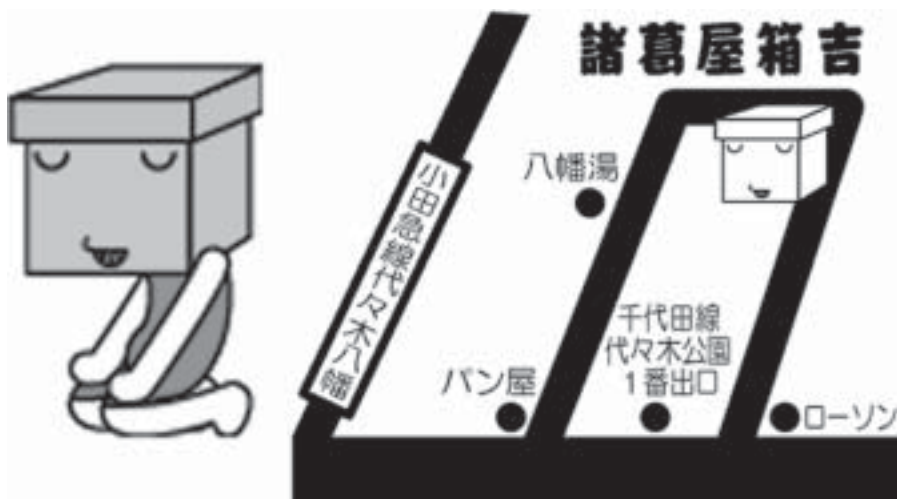
なんであれ生き抜くこと。この美しさが初めてどういうものか想像できた。自分の中でリアルなものとなった。そんなテーマの映画を今まで幾つも観た。小説も読んだ。がそれ以上でも以下でもなかった。

宣言する。どこまでも生きてやる。松本巖を全うしてやる。

そしてもう一つ宣言する。あの世は信じない。前世も信じない。よって靈魂も信じない。

『Imagine all the people
opple living for today』

架空 空間



諸葛屋箱吉にて、岩間玲の組むアートユニット
架空 プロジェクトが作品を展示します。題して『架空 空間』。

お客さん参加型のボックスオブジェを発表。

場所：渋谷区富ヶ谷 1-3-3 スズキビル 1階

小田急線代々木八幡徒歩 2分

営業時間 12:00 ~ 20:00 水曜日定休

tel:03-3485-1492

http://www.hakokichi.com

Rei's Gallery



ともだち 100 にんぎょう

参加型のアート作品を作ってみました。
 まず、私が一〇〇個の指人形を作ります。
 作るんですが、目玉は作らないで残しておき
 ます。その作った指人形を持って、私が出会っ
 た人一〇〇人に目玉を描いてもらい指人形は
 完成。そして、完成した指人形をはめてもらっ
 て写真撮影。
 というかんじで、このともだち一〇〇人形
 プロジェクトは進められました。
 この一〇〇人の写真と指人形は私の学校の
 学園祭で展示したんですが、一〇〇個並ぶと
 かなりの迫力そしてかわいい。全くはじめて
 出会った人、よく知ってる友だちも、参加し
 てくれた人みんな喜んで作ってくれて感謝。
 はじめて会う人に声かけるのはやっぱりドキ
 ドキしたな。でも、自分の作品を通じてコ
 ミュニケーションを取るって凄く面白い。自
 分の作品を見る人に向かわせるのもいいけど、
 自分から歩み寄って行くのも一つの表現方法
 だと実感。ごく一部の人がアートを楽しむだ
 けじゃなくて、もっと色んな人がアートの触
 れる機会が増えたらいいのにな。この作
 品が切っ掛けでアートの親しんでくれる人が
 一人ずつ増えてらっても嬉しい。

『人喰い鬼のお愉しみ』



Au Bonheur des Ogres

ダニエル・ペナック (中条 省平訳)

Daniel Pennac

白水社、2000年 ISBN: 4560071365

些か冗長に過ぎる語り口で、ある種、これ見よがしに知識をひけらかす。当人を眼前にしたら、むっとさせられるに十分なほどに。そんな印象から、読み始めには気乗りがしなかったのだが、次第に、リズムにも慣れ、まあ、悪くないな、次はどうなるんだろうな、と、頁を繰る手にも勢いがつき。

登場人物たちの顔がそれほど明確には見えてこないという弱点はあるものの、それなりに読ませる物語ではある。けれども、あまりに乱暴な飛躍があり、硬派なミステリ・ファンの響きを買う可能性は高いかもしれない。まあ、でも、ミステリという枠組みを取り払えば、このフランス的なぐずぐずふらふらした感じは魅力でもある。

いくつかの、意外性の高い展開で楽しませてくれるのだが、落ちは全くいただけない。逆に、これだけ話がとっ散らかってしまったところから、うまいことまとめられたら、それこそ大した作品だってことになっただろうな。



それにしあって、マロセーヌやその仲間たちが素敵なのは確かである。他の作品も読んでみようかなあ、という気になっている……かな。

(全太)

『ハーダー・ゼイ・カム』



Harder They Come

ジミー・クリフ Jimmy Cliff

ユニバーサルミュージック B00005R0UU 1972年

前回CMソングに使われてる昔の曲ということで引合いに出した、ジミー・クリフの『メニー・リバーズ・トゥー・クロス』。CMはスバルのレガシーがいかにもヨーロッパといった谷沿いの崖っぷちを疾走するやつだ。シンプルなメロディで印象的。一度聴いて忘れ難い名曲である。UB 40のお安いカバーもあったっけ。

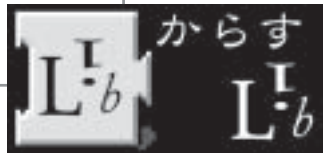
ところで、この曲を知る人たちに是非お知らせしたいちょっとした発見がある。邦題があるって知ってました？

『遙かなる河』

結構知らなかった人って多いんじゃないかなあ。いや、それだけなんです。

ジミー・クリフは、ボブ・マーリーと並び称される往年のレゲエ界の超人物。『遙かなる河』を収録する『ハーダー・ゼイ・カム』は同名の記録映画のサウンドトラックで、いずれも負けず劣らずの名曲ぞろい。古き良きレゲエ魂の詰まった名盤である。

(望月)



『サウスパーク』 無修正映画版

SOUTH PARK

Bigger, Longer & Uncut

監督・作詞曲・声：トレイン・パーカー

制作・声：マット・ストーン

MPEG-2(DVD) 1999年制作 HP-17926



"Shit-faced cockmaster" "Donkey-raping shit-eater" "Shut you fucking face Uncle fucker" "You're a cocksucking Ass-licking uncl-fucker" (全部和訳しちゃだめよ)

よく日本に不法滞在している外国人から聞く話で、日本語の勉強するには「クレヨンしんちゃん」を見て覚えるという。そんな語学勉強に最適な漫画がこの「サウスパーク」だ。米国に多数ある専門テレビ局のうちの一つ、Comedy Centralで放映しているアニメシリーズ。アメリカの田舎町、サウスパークに住む8歳の少年4人組が勉強そっちのけでいたずら、お色気、お下劣なストーリーを展開する。米国内放送ではセリフに「ピー」が多数入っており公共性を維持しているが、この劇場公開版では一切無修正となっている。ストーリーも公共放送ではまず放映できない内容に仕上がっている。冒頭の語録もセリフの一つ。1999年アカデミー賞ノミネート作品。ただ一つ残念なのは、日本語吹き替えが何故か関西弁な事。まあ、英語音声で標準語日本語字幕をお勧めする。あ、因に「R-15」指定です。

(小張寅蔵)



ろんどん つうしん
London Report

その街に住む

神山 朝人

あ、と思わず

横断歩道を渡ろうとして、
ちゅうちょしてしまった、時の気持ち。おなかの中に飼っている魚は
まだ、息をしている。その日の午後辺りから、すごく頼りなくなっていた。
もっと前からだろうか？

がたついた鍵。

とにかくそんなドアを開け、街に出た。

二階建てバスに乗り、カエデの並木通りを通る。

この通りにはもう、

葉っぱを売る黒人や、娼婦達の姿は見えない。

きみ、その街に住む。

あなた、その店にいる。

ぼく。

そしてバスを降りた。

確かめるように落ち葉を踏みながら、

大学通りを抜けて

小さな本屋さんへ入った。

手にした本を買ってみる。

『エメラルド・ジャームズ・オブ・アイルランド』 ニボンズ九九ペンス。

出て行った、

やつの気持ちが分かるかもしれない。

降りだした雨はすぐ止むんだし、

曇り空は忘れればいい。

朝食だったら食べれるんだし、

夕食ならば自分でつくればいい。

そうだ、コーヒーをもつ。

かどの小さなカフェで

コーヒーを買って、公園へ行こう。

きみ、その街に住む。

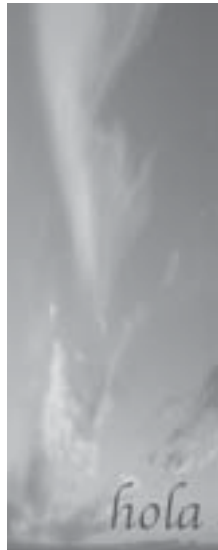
あなた、その道に行く。

ぼく。

僕は今ここにいます。

少し、泳ぎました。

*エメラルド・ジャームズ・オブ・アイルランド
Emerald Germs of Ireland



「ホルドバの夜明けとともに不思議な夢を見た。今まで聴いたことのない美しい現代的な音楽を聴いた。知らない音楽を夢の中で聴くなどという経験はいままでなかったように思う。合唱曲だったのも意外なこと、普段からそう聴くものでもないのだが、夢とはそういうものかもしれない。ずっと会っていない友人やらなにやら、人間の声が楽器のように奏でられ、みな身体をゆすりながら楽しそうに歌っていた。」

ジョン・レノンと一緒に歌っているのに気づいたあたりでどうもおかしいぞと思ったときはすでに覚醒への途中だったのだろうか。やがてホテルの天井が見えてくると同時に、せつかくそのコンサートのパンフレットで調べた作曲家と曲名をすべて忘れてしまった。今からのぞき見ることはできない。忘れることまで現実化することは無いのと思う。仮に今は実在しない曲だったとしても、これから出てくる新しい作品かもしれないという楽しみが残るのに。あるいは曲をそっくり覚えていけば、自分の作曲だと言いつけて世の中に名曲を残せたのだから、そのような訓練をしているわけではなく、やはり脳細胞はそんな期待にこたえてくれなかった。こんなに楽しい夢を見るなんてまったく何時以来だろうか。この街でのスタートとしては悪くはない。キリスト教とイスラムが相まみえた不思議な古く美しい街空間というイメージがひろがる。何か現代と融合した美しいものをつくりなさいという、

天の啓示、なのかもしれない。それとも本当にそんなに美しい曲に出会えるということだったらしいなあと思いつつ。

「ホルドバは、マドリッドの南西二百五十キロくらいにある、かつて一世紀から十三世紀までイスラムの一大中心地として繁栄を誇ったアンダルシアの主要都市のひとつである。その昔、学生の貧乏旅行で訪れたのはかれこれ二〇年前になるだろうか。とてもゆっくりと走る列車にゆられて、体力まかせの旅だったように記憶しているが、この街の直上から照りつけるような太陽と、土ほこり、そして一軒一軒の家にある美しいパティオは印象的だった。新しく家を建てるのにも、パティオは必要欠くべからざる生活空間であるばかりか、つくること



を義務づけられている建築要素でもあるそうだ。植物の蔓をモチーフにした、あるいはアラブの文化の影響をもとに幾何学的な美しい文様を描く鑄鉄製の扉の向こうに、その家主を想像できるかのようなそれぞれ趣向を凝らした小さくも光に満ちた空間を垣間見ることが出来る。時を経て、都市は新しく発展し現代のテクノロジーを享受していても、このようなところは昔と全く変わらない。過去からの堆積した都市空間である。

新しい駅前はずいぶん整備され、街もほどよく活気がある。マドリッドから、AVEという高速列車に乗ってわずか一時間半ほど、快適な旅である。飛行機に乗っているように、食事は自動的に運ばれてくるし揺れも少ない。そんな美学的な技術の上に、車体の合理的なデザインが人を包み込む。ヒスのない車体の内装、照明や空調機器がシステマチックに配置され、まったく隙のないデザインがなされている。緑のない単なる板状の大きなテーブルは、シート自体もほどよい硬さで座り心地は抜群

によい。床に一本足で最小限に取り付けられ、座席が浮遊しているような感じさえする。実用的でありながら美しいよく考えられたよいデザインだ。日本の、と括ってしまうことに一抹の後ろめたさはあるものの、インダストリアルデザインの文化の背景の違いに思いを巡らせてしまう。テクニクではドイツのジーメンスが関わっているらしく、フランスのTGVの経験も生かされているらしい。直線的で一見堅そうなデザインは人に媚びることなく、実際に使うととてもやさしい。合理的に知識と経験を生かして、新たなものを積み上げようというものをつくる姿勢には、本当によいものがあるところがあるという信念を感じずにはいられない。いつまでも使えるということを、彼らは本当に考えているのではないか。こんなことを考えながら、普段使っている携帯電話



を思い出すと、ひょっとして遙か東、彼の国のデザインは、人を飽きさせることを究極の目的としているのではないかと疑ってしまう。そうすれば次にまた新しいものを買ってくれるだろうから。もちろん伝統的なものはまじめな近代のデザインのことを言っているのではない。そんなことで、よい意味での合理主義を実感するのである。もっともスペインに自生の合理主義というものがあつたのはあやしいが……。

今回のプロジェクトの敷地の一部には、今使われていないシネマがある。ちょっと覗いてみると、なかなかきちんとデザインされている。どうやらホルドバの重要な建築家がデザインしたもので、その

(最終面に続く)

have は have got

カバのカバオです。サイモンはぼくのくちのなかにすんでいます。



He has got some real estate here in my mouth.
「かれはここ、ぼくの口のなかに家をもってます」

real estate = 不動産、家

.....
● have got は have 「もっている」だ。
● だから I've got = I have、He's got = He has
● have got to (have gotta)もあるが、こちらは= have
● 「しなければならない」
.....

サイモン&ガーファンクルの『アメリカ』は、恋人とともに「アメリカを探す」旅に出る青年の歌ののだが、その中にこんな下りがある。

I've got some real estate

Here in my bag.

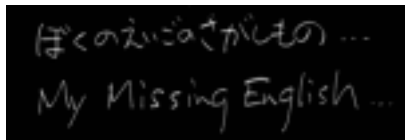
「ぼくには家がある

ここにあるぼくのバッグの中に」

出典 “America” Simon & Garfunkel

I've got = I have got なのだが、have got は「持っている」の意で、おなじみの have と同じである。映画や洋楽などでこの have got を聞いたことのある人も少なくないと思うのだが、実際、ネイティブ・スピーカーたちは have と同じくらい have got をよく使っている。

ちなみに、文法書には「おおまかに、have はアメリカ、have got はイギリスで多用される」などと説明されていることもあるが、そんなことはまったくない。



本来 have got は現在完了のいわゆる“完了用法”で、「～を手に入れた(ところ)」だが、そういう「用法」は抜きに、「手に入れた」=「持っている」として覚えてしまうほうがいい。

Have you got a cigarette?

= Do you have a cigarette?

「タバコある？」

Yes. I've got one.

= Yes. I have one.

「ああ、持ってるよ」

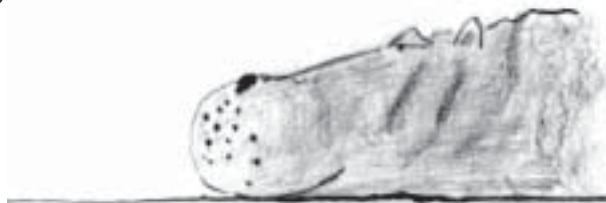
また have got to (= have gotta)「～しなければならない」もよく聞く。われわれには have to としておなじみだが、大統領だってふつうに使う。(公式アメリカ英語では have to を使うべきだが)

We've got to deal with an axis of evil.

= We have to deal with an axis of evil.

「われわれは悪の枢軸をなんとかしなくてはならない」

出典 02.5.23、アメリカ、ブッシュ大統領のベルリンでのスピーチ
deal with ~ = ~を処理する



axis = 軸、地軸。the Axis = 第二次大戦時の枢軸国(日本、ドイツ、イタリア)

Most of all, you've got to hide it from the kids.

「なんといっても、そんなものは子どもたちからは隠しとかなくちゃいけません」

出典 “Mrs. Robinson” Simon & Garfunkel
『ミセス・ロビンソン』サイモン&ガーファンクル

(望月)

(六面から続く)

意義は、その時代にヨーロッパに大きな流れとなっていた、近代の合理的な平面計画と、地域的なデザインモチーフを用いたファサードのデザインの両者を融合させたことにあるらしい。而して、この建物は取り壊さずに、計画の中に取り込もうということになった。機能的にそしてデザインの重層として。

それにしても、こちらの方の時間の感覚には疲れるものがある。昼食は、昨日は午後の三時半からだった。終わると五時を優に過ぎていく。ゆっくり歩いてオフィスに戻り、また打合せ。とにかくよくしゃべる。打合せでもなんでも。スペイン語のわからないこちらとしては、とにかく耐えるしかない。最近わかってきたのだが、きつと一をしゃべって十をわかるとまでは言わないまでもせめて三くらい分かれ、と言いたいところ。その逆で、きつと十しゃべって一か二の内容を伝えるるのではないだろうか。いろいろと例を引き同じ内

(一面から続く)

亡くなった父の最後の手術の際のことである。その手術で死ぬ可能性が一〇パーセント、ほぼ完全に健康に近い状態に復帰する可能性が二〇パーセント、残りの七〇パーセントは死と健康の間の何処か。孰れにせよ、手術をしなければ、長くても数ヶ月の命である。大雑把に纏めると、ざっとこのようなところが、医師からの説明であった。

手術の数日前、このことに関して、父と話し合った。彼は死を恐れていないと言っていたし、事実、次々に訪れる現実に淡々と対応しているようであった。先の説明に関して、彼が何を語ったかという点、確率なんていうものは、結局、役に立たない、ということ。施術による死の確率が一〇パーセントであったとして、自分がその一〇パーセントに該当してしまえば、それは当人にとっては一〇〇パーセントである、と。

術後、口を聞けなくなった父を見て、これが彼にとつての一〇〇パーセントなのだ、と痛感することになる。

容を何度もしゃべり、右から見たかと思うと今度は左からはどう見えるかを説明し、延々とにかくしゃべりつづける。誰かがしゃべっていないといけないとしても言うように、少しの間が空くと誰かが必ず口をはさむ。そう、「間」などというものはないので。間は、間抜けなもの、沈黙は金ではなく、彼らにとってはせいぜい鉄の錆びみたいなものなのかもしれない。そんな言葉の洪水のなから、豊かな表現も身振りも出てくるのかと思わなくもないが、如何せん、スペイン語がわからないのでつまらないわけだ。

暖かいようである。マドリッドも二〇度以上最後によるアリカントとい



う地中海沿岸の街などは、この時期なのに二十七度もの気温だそうさ。(篠崎健)

私たちは、あらゆることを選択する自由を持っている、それが現実に到達してしまつては。一歩でも半歩でも先のことならば、どんなことにも可能性があるのである。逆に言えば、現在や過去は選択しなすすことができない。この硬直した現実を前にして、私は時として歎息を漏らさずにはいられない。ああ。

生の長短を比較することには意味がない、それが、四十六歳であるうと、一万四十一歳であるうと、〇・〇二七四歳であるうと。何となれば、どの生も均一ではなく、代替不能な存在であり、彼らの死は彼らにとっては、一〇〇パーセントの、変更不能な現実なのであるから。

孰れにせよ、地球は今日も回り続け、私たちは生と死の合間をうろろろするばかり。何かご質問は?

(全文)



Ken-ichi Shinozaki, architect

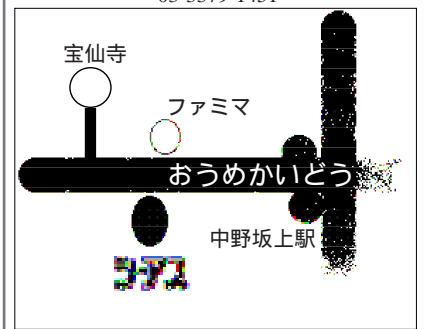
4-3-44-1 Narita-higashi, Suginami-ku, Tokyo 166-0015, Voice : +81-3-3220-0644 Facsimile : +81-3-3220-0640; e-mail: geta@geta-s.com

篠崎健一アトリエ

1クラス4人までの少人数制学習塾



中野区本町2-50-12 ドエル中野201号 03-3379-1451



編集後記
からす新聞第二巻第十一号通巻第四六号(無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。次号発刊予定日は二〇〇二年十一月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。